

F1-6

坂道における富士山眺望に関する研究

-23 区内の富士見坂を事例にして-

Study of Fuji mountain view in the slope

-As a case on the Fujimizaka slope in Tokyo -

○角館義一¹, 宇於崎勝也²

Giichi Kakudate¹, *Katsuya Uozaki²

Abstract: The purpose of this study is to lead Fujimi view from Fujimizaka slope. Mt.Fuji was got close to Japanese, and it came up in many literature and pictures. In Japan, there are many places-name Fujimi. As a result, to make Fujimi view with a rule of the building and the adjustment of the private right.

1. 研究の背景と目的

東京の街路の特徴のひとつとして高低差のある地形が多いことが挙げられる。これは、武蔵野台地をはじめとする海面の上昇・下降や河川により削りだされた台地や谷によるものである。その結果、坂状や階段状の街路が都市内に多く存在している。

現存している多くの坂の名称は江戸時代に民衆が呼称したものがそのまま残っており、坂からの眺望や形状、伝記、周囲のに立地した施設などにちなんで名前が付けられている。時代や土地の変化によって呼称は変化していくが、1682年の戸田茂睡による「紫の一本」から始まり、坂の位置や名称の研究がなされてきた。

さらに、都内には「富士見」と名のつく地名が多く存在している。これは山岳信仰として富士信仰に由来し、富士山をその場から望めることから名づけられたものである。富士山は2013年6月22日に関連する文化財群とともに「富士山・信仰の対象と芸術の源泉」として世界文化遺産に登録された。また、日本最大の活火山で、その雄大さや美しさから数々の浮世絵に描かれるなど、古来より日本人は富士山に対して特別な感情を持っていると言える。

本研究では眺望点とする富士見坂からの富士見眺望が失われた時期や要因を明らかにする手始めとして、それらの坂の実態を明らかにする。

2. 研究の方法

- ①東京都内の富士山に関連する坂を抽出する。
- ②抽出した坂の長さや方角等の情報を計測する(注釈1)。
- ③収集した情報を分析し、実態を明らかにする。

3. 富士見坂の概要

今現在、23区内で名称のある坂道の中で富士山に由来する坂は17箇所ある(Table 1)。抽出するにあたっては、すでに敷地に組み込まれて無くなってしまった坂は除外し、また、富士見坂と名のつく坂以外にも千代田区駿河台2丁目にあるお茶の水坂のように富士見眺望を過去に得られた坂もあるが本研究では言及しない。また、⑬ふじみ坂はマンション開発によって新しく造られた坂であるので、資料不足のため数値の記入が未だない。

富士山は東京からは西南西に位置し(Figure2)、丹沢山地や秩父山地等を隔てて立地している。富士見坂の多くは東北東に向けて上る坂であり、坂上部から富士見眺望を得る際に富士山方向へ視野が開けていた。現在、富士見眺望が得られなくなってしまった要因としては高層化し

Table 1. List of Fujimizaka slope

富士見坂の情報一覧									
視対象	区	坂名	下部海拔(m)	上部海拔(m)	高低差(m)	長さ(m)	方角(上り方向)	坂の位置	
富士山	①	千代田区	富士見坂	6.1	10.6	4.5	111.4	北東	千代田区神田駿河台1丁目
	②	千代田区	富士見坂	10.3	29.3	19.0	447.8	東北東	千代田区永田町1丁目
	③	千代田区	富士見坂	18.9	26.1	7.2	233.7	東北東	千代田区九段3丁目と富士見1丁目の間
	④	文京区	富士見坂	18.3	23.1	4.8	85.5	北北西	文京区本郷2丁目
	⑤	文京区	富士見坂	14.9	28.1	13.2	234.9	東北東	文京区大塚2丁目と5丁目との間
	⑥	文京区	藤坂	14.9	26.3	11.4	94.4	東北東	文京区小日向4丁目
	⑦	文京区	御殿坂	9.9	24.2	14.3	187.1	北北東→北東	文京区白山2丁目と白山3丁目との間
	⑧	文京区	横見坂	13.3	21.5	8.2	146.3	北北東	文京区湯島2丁目
	⑨	港区	新富士見坂	11.4	23.2	11.8	144.9	S字(東北東)	港区南麻布4丁目
	⑩	港区	大横町坂	14.8	30.9	16.1	346.8	東北東→東	港区元麻布3丁目
	⑪	港区	青木坂	11.4	23.2	11.8	113.3	東北東	港区南麻布4丁目
	⑫	渋谷区	宮益坂	17.7	33.9	16.2	334.7	ほぼ東	渋谷区渋谷1丁目
	⑬	渋谷区	南郭坂	13.4	30.0	16.6	431.9	東北東	渋谷区東1,3丁目境の坂
	⑭	大田区	富士見坂	10.5	26.3	15.8	227.3	東北東→北東	大田区鶴の木1丁目17番地
	⑮	荒川区	富士見坂	8.7	20.8	12.1	129.5	東北東	荒川区西日暮里3丁目
	⑯	豊島区	富士見坂	12.1	29.5	17.4	178.4	北北東	豊島区高田1丁目と文京区目白台1丁目との間
	⑰	足立区	ふじみ坂	-	-	-	-	-	足立区新田3丁目のハートランド新田内に造られた坂

1 : 日大理工・院・不動産, 2 : 日大理工・教員・建築

た建築物によって視界がさえぎられ、見通しが効かなくなってしまうからである。

国土交通省関東地方整備局が定めている関東の富士見百景^[1]では地区として富士見眺望が得られる場所は選出しているが、坂として選ばれているのは日暮里の富士見坂のみである。しかし、2013年6月以降、富士見坂周囲の建築物の高層階からは富士見眺望を得ることはできるものの、坂上部からは見えなくなっている。

4. 日暮里富士見坂

荒川区日暮里3丁目にある富士見坂では2013年6月までは富士山が拝めたが、現在は建設途中のマンションの仮囲いに隠れて見ることはできない(Figure 1)。富士見眺望が失われる前までは、元旦やダイヤモンド富士が見られる時期になると見物客が多かったが、今は少なくなっている。日暮里まちづくり実行委員会が発行する日暮里お散歩マップ^[2]に載っていることから日暮里のまちを特徴づける要素のひとつであったことが伺える。また、住民団体である日暮里富士見坂を守る会の働きかけによって、荒川区が日暮里富士見坂の眺望保全パンフレットを発行するにいたっている^[3]。

5. 特徴的な事例

坂の種類としては Table2 の3項目が挙げられる。各項目内で顕著な値を示すのが(ii)⑥藤坂、(iii)①富士見坂、(iii)④富士見坂である(注釈2)。

(ii)⑥の藤坂は、17ヶ所の中で最も角度が急な坂である。短いが高低差があるため、上部の海拔が30mに近く、富士見眺望が得られていたと考えられる。

(iii)①の富士見坂は海拔が最も低く、高低差もない。おそらく下った線上に靖国通りや皇居が位置し、海拔が低いながらも前面の開けた空間によって富士見眺望が得られていたと考えられる。

(ii)④の富士見坂は唯一東側へ上らずに北北西を向く。富士見眺望を得られていた理由としては、交わっているお茶の水坂越しの眺望を得ていたと考えられる。

6. まとめ

本研究では都内の富士見眺望が得られる坂の物理的特徴について整理を行った。今後は、富士山が見えなくなった時期とその要因を明らかにし、その原因を探るとともに、眺望を得続けるためにはどうすれば良かったのかを検討したい。

7. 注釈および引用・参考文献

- [1] 国土交通省関東地方整備局編：「関東の富士見百景」, p29, 2012年8月, <http://www.ktr.mlit.go.jp/chiiki/fuji100.html>
- [2] 日暮里まちづくり実行委員会：「日暮里お散歩マップ」, 2013年6月時点, <http://nippori-map.com/>
- [3] 荒川区防災都市づくり部都市計画課：「日暮里富士見坂眺望保全に関するパンフレット」, 2013年6月

(注釈1)坂の「長さ」とは街路より角度が変わる2点間の距離である。また、その2点のうち海拔が低い方を「下部」、高い方を「上部」と定義する。

(注釈2)長さが「長い坂」とは300m以上ある坂を指し、「高低差がある坂」とは高低差が10m以上の坂を指す。



Figure 1. Picture from Fujimizaka slope at Nippori

Table2. List of 3 slope types

i	坂が長く、高低差のある坂	②⑩⑫⑬
ii	坂が短く、高低差のある坂	⑤⑥⑦⑧⑨⑪⑭⑮⑯
iii	坂が短く、高低差のない坂	①③④

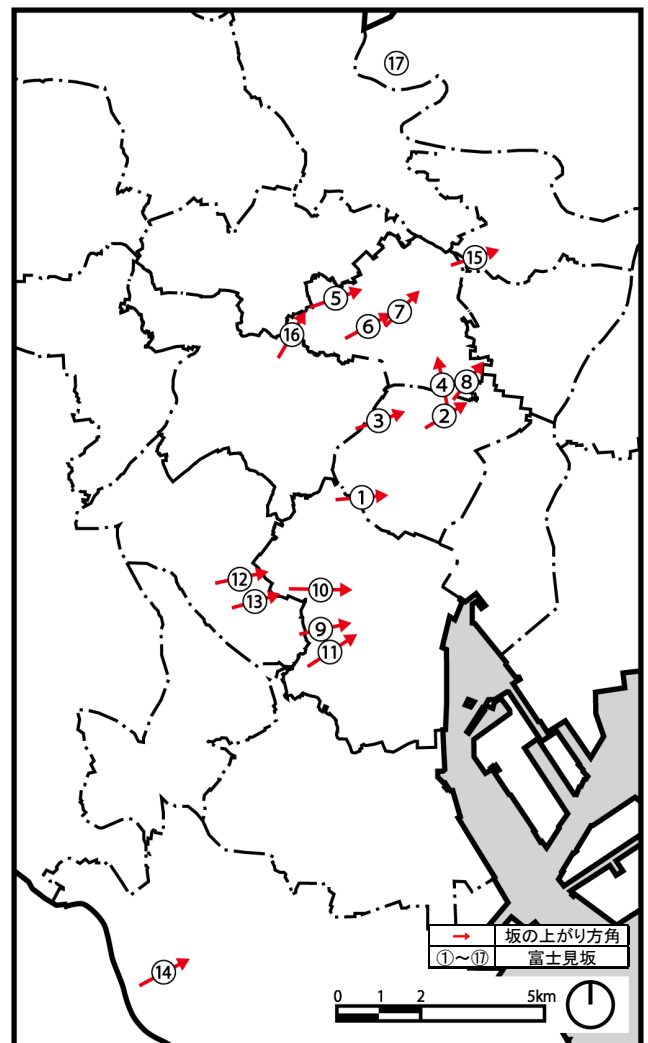


Figure2. Placement of Fuji mountain and Fujimizaka slopes